



ラボ評価のためのインストール

この付録の構成は、次のとおりです。

- [ラボ評価のためのインストール](#) (1 ページ)
- [ラボでの Cisco Prime Network Registrar のインストール](#) (1 ページ)
- [ラボインストールのテスト](#) (2 ページ)
- [ラボ環境でのアンインストール](#) (2 ページ)

ラボ評価のためのインストール

この付録では、評価目的で小規模なテスト構成をサポートするために、単一の Linux マシンで Cisco Prime Network Registrar のリージョナルクラスタとローカルクラスタをインストール、アップグレード、およびアンインストールする方法について説明します。



(注) 単一の Windows マシンにローカルクラスタとリージョナルクラスタの両方をインストールすることはできません。



注意 単一のマシンにリージョナルクラスタとローカルクラスタをインストールするのはラボ評価のみを目的としており、実稼働環境には選択しないでください。集約されたリージョナルクラスタデータベースは、DNS サービスまたは DHCP サービスも実行しているローカルサーバで合理的に配置するには大きすぎると予想されます。空きディスク容量が不足すると、これらのサーバで障害が発生します。

ラボでの Cisco Prime Network Registrar のインストール

評価目的で単一のマシンに Cisco Prime Network Registrar をインストールするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cisco Prime Network Registrar の 2 つの個別のインストールを格納するために十分な空きディスク容量がマシンにあるかどうかを確認します。
- ステップ 2** Cisco Prime Network Registrar のインストールの手順に従って、Linux マシンにローカルクラスタをインストールまたはアップグレードします。ローカルクラスタのインストールを指定します。
- ステップ 3** 同じ手順に従って、同じマシンにリージョナルクラスタをインストールまたはアップグレードします。リージョナルクラスタのインストールを指定します。
-

ラボインストールのテスト

インストールをテストするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** ポート番号に適した URL を使用して、ローカルクラスタの Web UI を起動し、ログインします。デフォルトでは、ローカルポート番号は HTTP 接続の場合は **8080**、HTTPS (セキュア) 接続の場合は **8443** です。
- ステップ 2** データをリージョナルクラスタにプルするためのテストとして、DNS ゾーンと DHCP の範囲、テンプレート、クライアントクラス、または仮想プライベートネットワーク (VPN) を追加します。
- ステップ 3** ポート番号に適した URL を使用して、リージョナルクラスタの Web UI を起動し、ログインします。デフォルトでは、リージョナルのポート番号は HTTP 接続の場合は **8090**、HTTPS (セキュア) 接続の場合は **8453** です。
- ステップ 4** ローカルクラスタへのシングルサインオン接続について、リージョナルクラスタをテストします。DNS ゾーン分散、DHCP の範囲、テンプレート、クライアントクラス、または VPN をローカルクラスタからリージョナルクラスタのレプリカデータベースにプルしようとします。
-

ラボ環境でのアンインストール

Cisco Prime Network Registrar をアンインストールする必要がある場合は、[Linux でのアンインストール](#)の手順に従います。

デュアルモードのインストール環境でリージョナルクラスタのみまたはローカルクラスタのみをアンインストールするオプションはありません。